



大阪・関西万博を契機とした「未来社会」の実現に向けて

(大阪版万博アクションプラン振り返り)

【概要版】

大阪府・大阪市
2026年2月

3 環境

《未来社会の姿》万博を契機とした脱炭素社会の実現

◆ 最先端技術の開発・実用化

◆ 事業者や府民の行動変容

◆ 大阪ブルー・オーシャン・ビジョン

◆ 大阪湾MOBAリンク構想

➡ **【万博時の到達点】 最先端技術(ペロブスカイト太陽電池、水素等、CO₂分離・回収、メタネーションの実証・活用、走行中給電等)の実証・活用 等**

① カーボンニュートラル(最先端技術の開発・実用化)

【取組・成果】

○ペロブスカイト太陽電池

- ・万博会場での「ペロブスカイト太陽電池」の実証を実施
- ・ベイエリアにおいて量産拠点の整備を表明

○水素等

- ・万博会場で水素のサプライチェーンモデルを実装
- ・ベイエリアでの水素・アンモニアサプライチェーン構築を検討
- ・グリーン水素とCO₂からe-メタンを製造・利用するメタネーション実証を実施



バスシェルターへの
ペロブスカイト太陽電池の設置
提供：積水化学工業株式会社



ガスバリアン外装膜への
放射冷却素材の使用
提供：日本ガス協会

【万博後のめざす姿】 「万博で活用した最先端技術の研究開発・実用化」

【今後の取組の方向性】

▶最先端技術の研究開発・実装化の加速

- ・先進カーボンニュートラル技術のビジネス化・産業化の推進
(「CNビジネススペース」によるビジネス化支援、ベイエリアにおける産業集積拠点の形成)
- ・脱炭素化の促進に向けた需要創出
(カーボンニュートラル技術の先導的実装及び活用の促進)

③ 大阪ブルー・オーシャン・ビジョン

【取組・成果】

○プラスチックごみ削減に向けた意識醸成・取組拡大

- ・マイボトルの利用促進
(マイボトルスポット5,536か所(令和8年1月末時点)、万博会場内に給水機59台設置)
- ・「Osakaほかさんマップ」でマイボトル・マイ容器利用可能店舗を情報発信
- ・オール大阪でごみ削減推進(ごみゼロアクション:約21万人参加(令和7年11月末時点))
- ・バイオプラスチック製品の開発・ビジネス化支援



万博会場での給水機設置

**【万博後のめざす姿】 「大阪湾に流入するプラごみ半減」
「既存のプラスチック製品製造からの業種転換の拡大」**

【今後の取組の方向性】

▶大阪ブルー・オーシャン・ビジョンの目標達成に向けた取組の加速

- ・全国豊かな海づくり大会を通じた水産資源の保護・管理と海・河川等の環境保全
- ・マイボトル携帯の普及啓発等
- ・プラスチックごみの回収や発生源対策の推進

② カーボンニュートラル(事業者や府民の行動変容)

【取組・成果】

○事業者向け

- ・脱炭素経営宣言制度を通じた脱炭素化の促進(約10,500事業者が宣言(令和7年10月13日時点))
- ・48事業者がCO₂削減分をクレジット化し万博協会に寄付(予定含む)
(クレジット創出量:411t-CO₂(令和7年3月末時点))
- ・ESG投融资促進に向け産官金の意見交換の場を新設

○府民向け

- ・脱炭素行動やCO₂削減量の見える化を実施
- ・民間事業者等と連携し新たなCFP表示を開始
(19事業者参画、CFP表示商品数170製品(令和7年10月13日時点))



大阪版CFPの表示例

脱炭素経営宣言チラシ

**【万博後のめざす姿】 「大阪の脱炭素経営を世界のモデルに」
「脱炭素行動の定着」**

【今後の取組の方向性】

- ・府内中小事業者のSBT認定取得促進、クレジット制度の活用やサプライチェーン全体での排出削減の推進
- ・ESG融資制度の構築・運用による脱炭素経営支援の強化
- ・府民の行動変容の促進、観光分野におけるCO₂排出量の見える化

④ 大阪湾MOBAリンク構想

【取組・成果】

○官民連携モデルを確立し、大阪湾全域での藻場創出等拡大

- ・兵庫県と大阪湾ブルーカーボン生態系アライアンス(MOBA)を設立(令和6年1月)
- ・万博会場周辺海域に約1,000㎡の藻場を創出
- ・適地調査結果・創出手法を公開し企業参入の課題解決に貢献



大阪湾MOBAリンク構想



万博でのイベントの様子
「おおさかブルーカーボン宣言」の決定

【万博後のめざす姿】 「大阪湾MOBAリンク構想の実現」

【今後の取組の方向性】

▶ブルーカーボンの推進

- ・大阪湾MOBAリンク構想の拠点藻場創出等を加速化
- ・万博会場周辺海域藻場の維持管理・モニタリングで藻場生態系を持続的に拡大、CO₂吸収量でJブルークレジットを取得し藻場保全・拡大の資金源に